

2020年6月30日

TYOGA-01-30JUN/22

## ガルダ・インドネシア航空の債務再編計画の裁判所承認について

ガルダ・インドネシア航空会社(本社:ジャカルタ、インドネシア)は、2022年6月27日(月)に債権者の過半数の支持を得て、中央ジャカルタ地方裁判所によって債務繰延再編計画が承認されました。

カルティカ・ウィルジョアトモジョ国営企業省(BUMN II)担当副大臣は、「債権者によるガルダの債務繰延(PKPU)構成計画の承認は、ガルダ・インドネシア航空が業績回復を加速させ、迅速で適応的な方法で再建策を実行し続けるための基礎となります。よりスリムなオペレーションコストと、債権者をはじめとするすべてのステークホルダーの支持と信頼に基づき、透明性を保った業績回復目標を持ち、ガルダ・インドネシア航空の事業再生の最適化を継続できることを期待しています。

経営陣が健全で収益性の高い事業体になる為に業績改革は国営企業省により引き続き監督されます。競争が激化する航空業界の見通しを考慮し、ガルダ・インドネシア航空が作成した事業計画は、競争力のある航空会社になることに主眼を置き、業績回復を強化すると考えています」と、述べました。

ガルダ・インドネシア航空社長のイルファン・スティアプトラは、「裁判所がガルダ・インドネシア航空の事業計画を承認したことは、より競争力のある事業体になるための再建プロセスを実行する基本的なステップのマイルストーンです。この再建計画の承認は、ガルダ・インドネシア航空の将来の業績に対する、債権者をはじめとするすべてのステークホルダーの意向を反映したものです。

私たちは、この勢いを最大限に活用して、前向きに業績を伸ばしていきます。特に、業績基盤を加速させ、会社のコスト構造を改革することで、将来、事業の課題に直面した際に、より強い会社となることに重点を置いています。これは、より強く、より健康的で、より弾力性のある事業体への変革を続け、国の経済回復の勢いと、航空業界の回復に不可欠な地域移動制限の緩和に合わせて、今後2-3年の回復を加速させるという弊社のコミットメントに沿ったものです」と説明しました。

この再建計画には、営業キャッシュフローによる事業債務の決済、負債の株式への転換、特定の期間を持つ新しい長期支払条件の変更、新しい負債証券または株式という形での再建手段の提供など、多くの事業決済義務が含まれている。再建スキームの実行は、各債権者の事業債務の価値と事業体の種類に応じて調整されます。

「この段階まで達成できたのは、債権者をはじめとするすべてのステークホルダーからの強い信頼と、ガルダ・インドネシア航空がすべてのビジネスパートナーに対する事業義務を果たすため最善の解決策提案があったからで、関係者の総合的努力無しには成しとげられなかったでしょう。

PKPU プロセスで達成された承認(ホモロゲーション)により、私たちは業績回復を加速させるために、いくつかの戦略的な企業課題を通じて、引き続き取り組みを強化してまいります」とイルファンは述べました。

再建計画には、提出した事業計画に沿ってガルダ・インドネシア航空の機材を拡大し、業績の収益性に重点を置くことも含まれています。これは、業績の良いフライトルートの最適化、貨物および付帯収入の市場シェアの最大化、さらにフライト事業の回復のための同社の権利発行スキームの一部となる7兆5000億ルピアの国家資本注入(PMN)に関する政府との協議強化の取り組みとも一致するものです。

イルファンは「また、これらの戦略的課題は慎重に実行されるべきであると理解しています。私たちは、これらのコーポレートアクションのすべてを、慎重かつ良好なコーポレートガバナンスに則って実行することを約束します。ガルダ・インドネシア航空は、私たちが信頼してくださっている大切なお客様から従業員に至るまで、ステークホルダーの皆様のご支援により、ここまで来ることができたことを、ナショナルフラッグキャリアとして、また国の誇りとして、最高のフライトサービスを提供するための重要な基盤になると考えています」と述べました。

ガルダ・インドネシア航空は、これからも5スターエアラインとして、更なるサービス向上と、お客様に快適な空の旅をご提供できるよう努めてまいります。

#### ■ガルダ・インドネシア航空会社について

インドネシア共和国を代表する航空会社。会社設立 1949 年。日本への運航開始は 1962 年 3 月。インドネシアの文化や伝統をベースとした、五感で感じるインドネシア「ガルダ・インドネシア・エクスペリエンス」がサービスコンセプト。2014 年、スカイチームに加盟。スカイトラックス社(英国の格付け会社)による「The World Airline Awards」では、4 年連続で「5 スターエアライン」認定(2015-2018 年)と「The World's Best Airline Cabin Crew」(2014-2018 年)を世界で初めて 5 年連続で受賞している。また、世界の航空関連情報を提供する英国の OAG より、定時運航率 95%で、2019 年に世界で定時運航率が最も高い航空会社に選ばれた。

<本リリースに関する問い合わせ>  
ガルダ・インドネシア航空 篠・南部  
【E-Mail】 tyoss@garuda-indonesia.co.jp 【電話】 03-3240-6153